

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社西武リアルティソリューションズ (旧株式会社プリンスホテル)					
代表者名	氏名	齊藤 朝秀	役職名	取締役社長		
主たる事務所の所在地	東京都豊島区南池袋一丁目16番15号					
主たる事業の分類	大分類	K 不動産業、物品賃貸業				
	中分類	69 不動産賃貸業・管理業				
主たる事業の概要	事業内容 不動産の所有、売買、管理、賃貸借、仲介業務等、ホテル・レジャー施設の経営 設立 1956年6月4日 資本金 8,600百万円 従業員数 519名 (2023年3月31日現在)					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外 (任意提出) の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	18,956	18,387	16,335	18,408	18,865
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	37,038	35,926	31,882	35,971	36,884
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	0		76	61	148
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	0				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020	年度～	2022	年度
------	------	-----	------	----

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

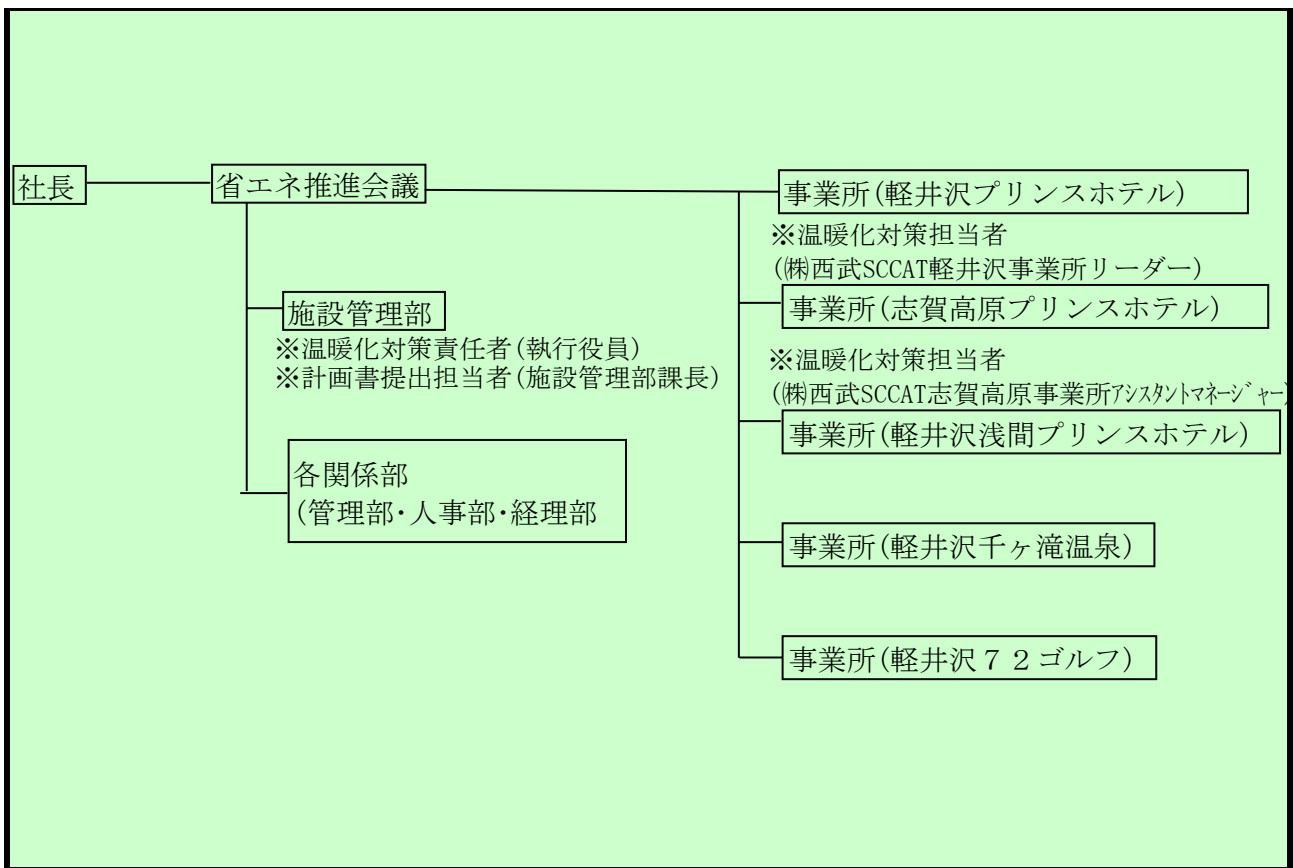
3 計画書 (報告書) の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	閲覧場所 ; 軽井沢プリンスホテル施設管理事務所 所在地 ; 長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢1016-75 連絡先 ; 0267-42-8818 閲覧可能時間 ; 10:00～17:00
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

グループ理念	私たち西武グループは地域・社会の発展、環境の保全に貢献し、安全で快適なサービスを提供します。 また、お客様の新たなる感動の創造に誇りと責任を持って挑戦します。
グループ宣言	共に歩むこと 常に、自然環境、地球環境への配慮を忘れません。 常に、地域社会の一員として行動します。
省エネ推進 取組方針	1. 環境や省エネに対する意識向上を図り、温暖化対策に努める。 2. エネルギー使用状況の把握に努め、無駄のない施設運転・運用管理を実施する。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

施設担当者会議 (年2回)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	37,038	t-CO ₂	延べ床面積	206.79	単位	千m ²
2019年度	調整後排出量	36,974	t-CO ₂	基準原単位	179.11	t-CO ₂ /	千m ²
目標年度	目標排出量	35,926	t-CO ₂	目標原単位	173.74	t-CO ₂ /	千m ²
2022年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	<p>弊社では2008年より全国的に省エネ会議の実施及び同対策に取組み、会社としての管理標準の策定及び計画的な機器更新を進めて、省エネ法でいう年3%以上のエネルギーの効率化を進めてきている。長野県内事業所のエネルギー使用割合は全国の14.5%ではあるが、本県においても積極的に温室効果ガス排出抑制に努めたい。地球温暖化対策に積極的に取り組むため、総量ベースで基準排出量から3%削減、原単位ベースで基準原単位から3%削減のいずれかの削減を達成するよう目標を設定した。</p>						
第一年度	排出量	31,882	t-CO ₂	延べ床面積	208.14	単位	千m ²
	削減率	13.92	%	原単位	153.17	t-CO ₂ /	千m ²
2020年度	調整後排出量	31,882	t-CO ₂	原単位削減率	14.48	%	
	削減率	13.92	%				
排出量等の増減理由	<p>軽井沢浅間プリンスホテルにおいては温泉施設、ヴィラコテージ15棟新設に伴いエネルギー使用量が多少増加傾向にあったが、各事業所においては政府による緊急事態宣言発出に伴う臨時休業および営業形態の減少によりCO₂削減となった。</p>						
第二年度	排出量	35,971	t-CO ₂	延べ床面積	214.35	単位	千m ²
	削減率	2.88	%	原単位	167.82	t-CO ₂ /	千m ²
2021年度	調整後排出量	35,971	t-CO ₂	原単位削減率	6.30	%	
	削減率	2.88	%				
排出量等の増減理由	<p>緊急事態宣言が解除され、全体的にお客様が増加した。また昨年の浅間プリンスホテルの温泉施設、ヴィラコテージオープンに続き、4月に軽井沢プリンスホテルに新棟70室、温泉施設がオープンしエネルギー使用量は増加傾向にあるがLED照明器具、空調、衛生設備においては高効率設備の導入により、プリンスホテル全体では2.88%の排出量の削減となった。</p>						
第三年度	排出量	36,884	t-CO ₂	延べ床面積	211.37	単位	千m ²
	削減率	0.41	t-CO ₂	原単位	174.50	t-CO ₂ /	千m ²
2022年度	調整後排出量	36,884	t-CO ₂	原単位削減率	2.57	%	
	削減率	0.41	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	<p>二酸化炭素排出抑制3%削減目標に対し1%未満に留まった理由として、観光需要の増加により施設利用が増えエネルギー使用量が増加したことが影響しています。ホテルにおいては換気の回数、ソーシャルディスタンスによる一人辺りのスペースが増えた事により冷暖房、電気使用が増加、スキー場においてはリフトに乗る人数が制限されたことにより運用回数が増えた事がエネルギー使用量の増加となった。</p>						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019 年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	150201	ショッピング照明LED化	2020～ 2022	50		
2	エネ起	130105	ショッピング空調設備更新 (プリンスボウル、ガーデンモール)	2021～ 2022		2022	
3	エネ起	160103	軽井沢ウエスト客室棟 エレベーター更新	2020		2020	
4	エネ起	130105	ショッピング空調設備更新 (ニューウエスト2期)	2020			
5	エネ起	120201	軽井沢スキー場 スノーマシン更新	2020～ 2022			
6	エネ起	160103	志賀高原 (西館E L V更新2基)	2021			
7	エネ起	150104	志賀高原 (東館受変電設備更新)	2021			
8	エネ起	160103	志賀高原 (西館E L V更新3基)	2022			
9	エネ起	130105	軽井沢ウエストAサイド 空調機更新	2020		2021	
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
プリンスエコファーム 軽井沢水力発電所	k w	199	0	199	199	199
太陽光発電 (軽井沢ショッピングプラ	k w	10	0	10	10	1050

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000kl以上	1	29,438	1	25,519	1	28,668	1	29,052
1,500kl以上 3,000kl未満	1	4,154	1	3,461	1	3,779	1	3,992
1,500kl未満	3	3,446	3	2,902	3	3,524	3	3,840
合計	5	37,038	5	31,882	5	35,971	5	36,884

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
NF ₃	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	2	29	8
その他 (ハイブリッド等)	0	7	6	8
合計	0	9	35	16
自動車総数	0	76	61	148
次世代車導入割合		11.8	57.4	10.8

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	マイカー持込の規制による路線バスの利用
自転車利用促進	なし
来客者の交通対策	最寄駅からの無料送迎バスを運行している。
物流の合理化	備消耗品等の納品日および時間指定の実施

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		
	名称		
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	西武グループサステナビリティアクションの取組		2022

1.5 自由記載欄

<ul style="list-style-type: none"> レストラン等で使用しているストローを紙製へ切替、売店等で渡していたビニル袋を有料にし、マイバック使用を推奨。 国内施設の直営店舗においてプラスチック製買い物袋の有料化を開始し、1枚3円にて販売し、その売上金を各施設が位置する地方自治体に寄付し、地域の環境保全活動や社会貢献活動に活用いただきます。 サステナビリティアクション (ESG) への取組 再生可能エネルギーの自家消費を増加 (使用エネルギーの代替) 軽井沢・プリンスショッピングプラザにてオンサイト PPA モデルによる太陽光発電を行い施設全体の使用電力量の約20%をカバー。年間約 870t-CO2 の削減効果を見込んでいます。
